

平成 29 年度創薬支援ネットワーク・アドバイザーボード  
(意見とりまとめ)

平成 30 年 2 月 5 日

創薬支援ネットワーク・アドバイザーボード

- 平成 28 年度創薬支援ネットワーク・アドバイザーボードで提示した「提言 2016」について、事務局より以下の対応状況と今後の方針について説明を受けた。

- ・ 3 独法による合理的な支援の推進
- ・ 支援テーマ撤退基準へ時間的視点を反映
- ・ AMED の組織改編による創薬戦略部の設立
- ・ 創薬シーズ実用化支援基盤整備事業の整備
- ・ 人材確保への対応 等

AMED からの説明について了承するとともに、引き続き、AMED での対応状況を注視する。

- その他、以下の意見があった。
- ・ 人材確保に関する取組について、目利きに関する知識・経験を組織として蓄積していく必要があり、より若い人材を採用して戦略的な育成を考えることが重要である。
  - ・ 新たなシーズ情報の収集等のためには、諸外国からの情報収集も重要である。

〔構成員（順不同）〕

中西 洋一 九州大学大学院医学研究院臨床医学部門内科学講座  
呼吸器内科学分野 教授

児玉 龍彦 東京大学先端科学技術研究センター 教授

竹内 誠 アステラス製薬株式会社 上席執行役員 渉外部長

塩村 仁 ノーベルファーマ株式会社 代表取締役社長

三好 昌武 社会保険診療報酬支払基金 専務理事

土居 眞樹 ドイ・バイオコンサルティング 代表

竹中 登一 公益財団法人 ヒューマンサイエンス振興財団 会長

その他、製薬企業役員 1 名

以上